



◆◆◆◆ 国際通貨研究所メールマガジン（第 130 号 2023/1/5 発行）

◆◆◆ Institute for International Monetary Affairs e-Newsletter

◆◆ (No. 130, January 5, 2023)



《ウェビナー開催》

中国ミニウェビナー：1月11日（水）開催予定

『中国経済の減速とその深層』

■■詳細と申込は以下をクリック■■

https://www.iima.or.jp/info_active/mini-webinar/20230111.html

《第 31 回 国際金融シンポジウム開催》

『不確実性の時代～世界経済は安定を取り戻せるか～』

1. 日時：2023年3月9日（木）20:00 - 22:00（日本時間）
2. 形式：ZOOM オンライン
3. パネリスト（敬称略、アルファベット順）：

神田 真人

財務省 財務官

Xavier Musca

Deputy Chief Executive Officer, Crédit Agricole S.A.

Former Secretary General of the President's Office, France

John W. Snow

Chairman, Cerberus Capital Management

Former Secretary of the U.S. Treasury

Amando M. Tetangco Jr.

Former Governor Bangko Sentral Ng Pilipinas

Ming Zhang

Senior Fellow and Deputy Director of Institute of Finance &

Banking Chinese Academy of Social Science

渡辺 博史

国際通貨研究所 理事長（モデレーター）

4. 使用言語：英語（英日同時通訳）

5. お申込み：

参加ご希望の方は下記 URL からお申込み下さい。

URL：<https://www1.entryform.jp/symposium0309/>

＼1. 理事長 渡辺博史 コラム／

「癸卯の年」

<https://www.iima.or.jp/docs/merumaga/2023/20230105watanabe.pdf>

明けましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルスという大災禍がまだくすぶり続ける中、...

＼2. 金沢星稜大学 経済学部 教授 中村明 コラム／

「アーサー・ラッファー教授と増税」

<https://www.iima.or.jp/docs/merumaga/2023/20230105nakamura.pdf>

アメリカ経済論という授業科目を担当するようになってほぼ3年が過ぎ、教科書として書籍を利用させて...

■ 最近の調査研究レポート（前月掲載分）

1. 「クロスボーダー決済の課題解決に向けた国際決済銀行の取り組み」 宮川真一

<https://www.iima.or.jp/docs/newsletter/2022/nl2022.38.pdf>

2. 「近づく FRB 利上げのピークとドル円相場の今後
～ドルサイクルに基づくドル及びドル円相場の定点観測～」
橋本将司

<https://www.iima.or.jp/docs/newsletter/2022/nl2022.37.pdf>

3. 「試練を迎えるニュージーランド経済」 森川央

<https://www.iima.or.jp/docs/column/2022/ei2022.27.pdf>

4. 「新政権下のイタリア経済 ～財政・対外政策で現実路線を打ち出したメローニ政権～」 篠原令子、小宮佳菜
<https://www.iima.or.jp/docs/newsletter/2022/nl2022.36.pdf>
5. 「カンボジアの最近の経済状況と今後の見通し ～ウィズコロナに舵を切ったが楽観はできず～」 梅原直樹
<https://www.iima.or.jp/docs/newsletter/2022/nl2022.35.pdf>
6. 「インドの経済・政治情勢 ～総じて安定成長が見込まれるも、構造改革推進が課題～」 福地亜希
<https://www.iima.or.jp/docs/newsletter/2022/nl2022.34.pdf>
7. 「SWIFT が CBDC システムとの相互接続実験に成功」 潮田玲子
<https://www.iima.or.jp/docs/newsletter/2022/nl2022.33.pdf>
8. 「世界の金融におけるオルタナティブデータ活用はどれだけ進んでいるか」 宮川 真一
<https://www.iima.or.jp/docs/newsletter/2022/nl2022.32.pdf>
9. 「来年の米国経済とインフレの組み合わせ」 岩岡聰樹
<https://www.iima.or.jp/docs/column/2022/ei2022.26.pdf>

■ IIMA-GMVI・購買力平価

<https://www.iima.or.jp/research/ppp.html>

《掲載内容》

- IIMA-GMVI (Global Market Volatility Index)
(グローバルな金融・資本市場のリスク度を表す指数)
- 購買力平価 (PPP)
(ドル円) (ユーロドル) (ユーロ円)

■ 今月の IIMA

明けておめでとうございます。

コロナ禍での3回目の年末年始、3年ぶりに行動制限がなく各地で賑わいをみせておりましたが、皆さま如何お過ごしになりましたでしょうか？

新年を迎えましたが、続くロシアによるウクライナ侵攻、歴史的なインフレによる各国の金融引き締めと景気減速への懸念など、世界経済は不透明感を増している状況です。こうした中、IIMAでは二つのウェビナーを予定しております。1月11日(水)に中国関連ウェビナー「中国経済の減速とその深層」を、また3月9日(木)には恒例イベントとなる国際金融シンポジウム「不確実性の時代～世界経済は安定を取り戻せるか～」を開催いたします。皆さまのご参加をお待ちしております。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

■ 【バックナンバー】

<https://www.iima.or.jp/mailmagazine.html>

■ 【次号】

2023年2月1日配信予定

■ 【各種お問い合わせ】

admin@iima.or.jp

※閲覧にはAdobe Readerが必要です。

Adobe Readerのダウンロードはこちらから

→ <http://get.adobe.com/jp/reader/>

本メールは配信専用のアドレスからお送りしております。

返信をいただいても当方では受け取ることができません。

◆発行◆

公益財団法人 国際通貨研究所

〒103-0027 東京都中央区日本橋2-13-12 日本生命日本橋ビル8階

[HP (日本語)] <https://www.iima.or.jp>

[HP (English)] <https://www.iima.or.jp/en/>

Copyright(C) IIMA All Rights Reserved.